

中国のコロナ感染再拡大と日米企業業績



シニア・ストラテジスト 石黒英之

ポイント① 中国景気の減速懸念が強まる

中国のコロナ感染再拡大が、景気や企業業績に及ぼす影響への懸念が強まっています。中国国家統計局が3月31日に発表した3月の製造業PMIは49.5となり、5ヵ月ぶりに好不況の分かれ目である50を下回りました。内訳をみても新規受注や生産、サプライヤー納期の下振れが目立っており、コロナの感染再拡大が中国景気や供給網に悪影響を与えていることが確認できます（右上図）。

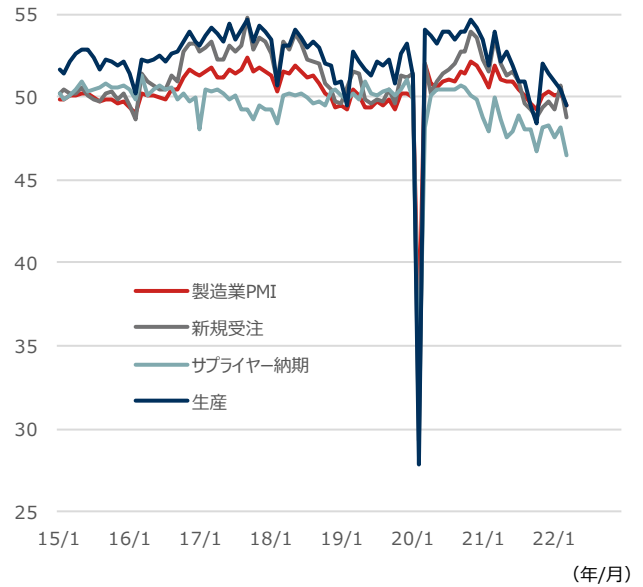
中国の上海市では西部地区で外出制限を継続すると発表するなど、事実上の都市封鎖が続いており、予断を許さない状況にあるといえます。

ポイント② 日米企業業績の鈍化は限定的か

中国のこうした動きが日米企業の業績にどの程度影響を与えるのか懸念する投資家も多いとみられます。その意味では、昨年後半に中国で浮上した電力不足問題が一つの参考となりそうです。中国の同問題で、日米主力企業の製品生産が停止を余儀なくされたこともあり、一時的に日米株の予想EPS（1株当たり利益）が伸び悩む場面もみられました。ただその後は、再び拡大基調に回帰し、現時点では2024年末に向けても利益拡大が続くと見込まれています（右下図）。

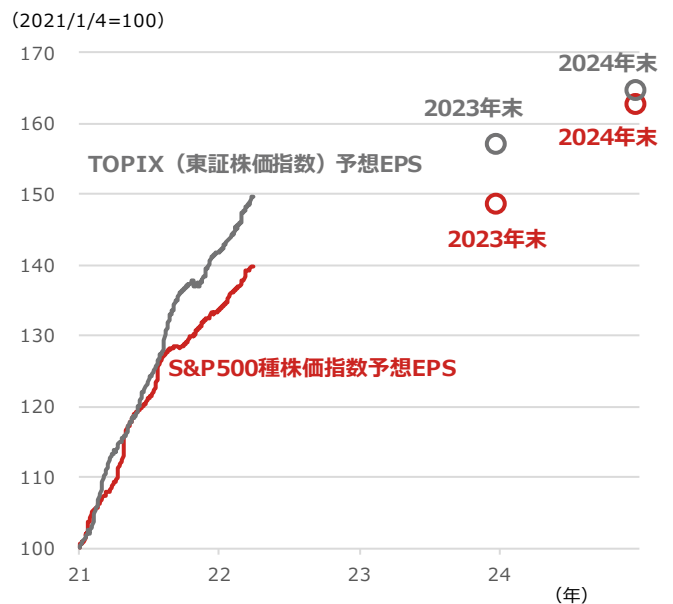
上海市では4月3日の市中の新規感染者数（含む無症状）が9千人を超えるなど、3日連続で過去最多を更新していますが、深圳市のように都市封鎖の解除に向かった都市もあります。習近平国家主席はコロナ対策による経済発展への影響を最小限に抑えるべきだとの見解を示すなど、感染拡大の抑制と経済成長の両立を目指す方針であることから、現時点で日米企業業績に及ぼす影響は限定的と考えられます。

中国製造業PMI（購買担当者景気指数）と内訳



期間：2015年1月～2022年3月、月次
・新規受注、サプライヤー納期、生産は製造業PMIの内訳
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

TOPIXとS&P500種株価指数の予想EPS



期間：2021年1月4日～2022年4月4日、日次
・予想EPSの実線は12ヵ月先予想EPS
・○印は2023年末、2024年末時点の予想EPS (Bloomberg予想、2022年4月4日時点)
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。